

暑さが厳しい夏ですが、子どもたちはプールや色水遊び、泡遊びなど夏の遊びを通して心地よさを感じながら元気に過ごすことができました。初めての大きなプールにわくわく、ドキドキしていた子どもたち。プールの中をみんなで一緒に歩くことから始め、走ったり、ジャンプをしたり、ワニ歩きをしたり、少しずついろいろな動きを取り入れながら楽しみました。保育者との水のかけ合い合戦も白熱し、水をかけられながらも負けずに一生懸命水をかける姿から頼もしさと力強さを感じました。

また、ホールなどの広い空間ではリズム遊びや集団ゲームを通して体を動かすことを楽しみました。音に合わせてピタッと手を広げて止まったり、虫や動物になりきってのびのび表現したり、近くにいる友だちを意識しながら一緒に楽しむ姿に育ちを感じることができました。そしてこの夏、思いもよらず子どもたちのブームになったのは『ラジオ体操第一』でした。プール前の体操で楽しみ、日を追うごとにBGMに合わせた動きやかけ声が活発になっていきました。

今月は運動遊具を用いたサーキット遊びや、体を動かす遊びを通して、心地よさやいろいろな動きに挑戦することの面白さを感じたいと思います。達成感や喜びに共感し、やってみようとする気持ちに寄り添いながら関わっていきたいと思います。



先月より、おやつのおかわりが欲しい時にはお皿を持ち、自分で配膳台まで受けとりに行くようにしています。

おやつメニューが『おにぎり』だったある日の出来事です。

保育者「おかわりは1つか2つ、どっちにしますか？」

Aくん「……よっつください！！」

4つ、配膳してあげたい気持ちになるほどのわんばく返答に、思わず笑ってしまいました。

この7、8月は楽しみにしていたプール、泡遊びや寒天遊び等の感触を楽しむ遊びなど、夏ならではの遊びをたくさん楽しむことができました。箱制作など様々な素材を用いた自由制作では「今日も制作する！」と張り切り、箱を組み合わせて繋げる楽しさから、「これとこれを組み合わせると船に見える！」などイメージしたものを子どもたちなりに考えながら作って楽しんでいます。また、広いホールで様々な集団ゲームをしたり、鉄棒やミニハードルのジャンプ等の運動遊びをしたりして体をたくさん動かして楽しみました。

9月は、引き続き運動遊びを楽しみ、鉄棒では足抜き回りにチャレンジし、挑戦する子どもたちの気持ちを大切にしていきたいと思います。また、パラバルーンを楽しむ中で、一つの目標に向けて友だちと一緒にする楽しさや心を合わせる喜びを感じられるように、取り組んでいきたいと思います。

制作では、絵の具やパスを使って夏の思い出を描いたり、デカルコマニーという表現方法で『かかし』を表現したりし、思い思いに楽しんでいきたいと思います。



子どもたちが頭を寄せ合い恐竜図鑑を見て、肉食恐竜か草食恐竜か話し合っていました。

Aくん「これは…肉食恐竜だね」

Bくん「あ、そうだね！

これはなんだろう…」

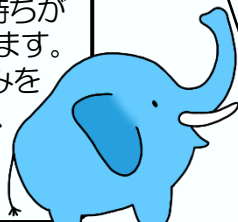
Aくん「えーっとね、これは……  
しょうしょく恐竜だよ！」

Aくんのかわいい表現に、小食の恐竜ってどんなのだろう…と想像してしまい、思わず笑みがこぼれる一場面でした。

朝夕と秋を感じる風が吹く季節になってきました。今月は、いよいよ待ちに待ったお泊まり保育があります！チームフラッグを作ったり、一日目に食べるおやつを決めたりと、夏の間少しずつ準備を進めてきました。

また、グループリーダーの保育者とキャンプファイヤーの時にやるスタンツの曲を話し合ったり、ダンスの振り付けや体に着ける飾りを考えたりと、アイデアを出し合いながら進めています。この内容は、他のグループの友だちや保育者には内緒だよと伝えているため、子どもたちはわくわくしながら話し合いに出かけています。グループ活動を通して友だちや保育者との繋がりが深まってきていると感じます。保護者の元を離れ、泊まりで出かけることへの不安を覚えていた子どももいましたが、保育室に飾ってある写真を見ながら、「ここ行ってみたいね」「みんなでいかに乗ろうね」「お風呂大きくて楽しそう」など、目を輝かせながら会話を楽しむ姿がたくさん見られるようになってきました。楽しみを見つけ、「早く行ってみたい」「友だちや保育者と一緒なら大丈夫」という気持ちが芽生えていることに、子どもたちの成長とたくましさを感じています。

子どもたちの気持ちを受け止めながら、今しかできない経験や楽しみを見つけ、喜びいっぱいに出発し、帰ってくるができるように、一緒に準備を進めていきたいと思います。また、当日は、たくさんの経験を共にし、かけがえのない思い出を作りたいと思います。



クッキングでうどんを作った時のことです。

Aくん「このうどん、今まで食べた中で一番おいしい」

Bちゃん「これ、お店で売れるわ」

Aくん「ぞうぐみで、うどん屋さんしようか」

自分たちで作上げた喜びと、達成感がとても伝わってくる一言でした。